

問 蘇水公園グラウンドの駐車場について

Q1 イベントや各種スポーツ行事の開催時、蘇水公園グラウンドの駐車場が足りていないように思うが、これをどう考えてみえるのか何う。

答 (堀部教育長) 駐車場が足りているかとの質問ですが、平日は十分足りております。土・日曜日についても、複数の種目の利用がないときや、大きな大会がないときは、駐車場が不足していることはありません。

駐車場の確保については、一昨年度に、野球場の外野付近と多目的広場の間に、アスファルトの駐車場をつくりました。また、艇庫付近の川沿いの場所を駐車場を利用することを、関西電力と協議しています。



蘇水公園駐車場

問 杉原千畝記念館と周辺地域の整備について

Q1 人道の丘公園の50年後の位置づけをどのように考えてみえるのか何う。

答 (金子町長) 公園内の環境整備につきましては、シルバー人材センターに委託し、桜の木をはじめ樹木の整備及び環境整備をしております。

また、アミューズゾーンの大規模コンベンション遊具は町内外からの利用が多く、平成29年度には大規模改修をして、皆さんに親しまれ、活用いただいております。さらに新丸山ダムの建設も進んできており、来園される方もさらに増加してくるものと思われまます。今後の位置づけといたしましても、当初の目的を変えることなく存続するために、維持管理に努め必要な整備をしていきたいと思います。

問 道路改良について

Q1 道路改良工事における生活道路工事実施基準について何うととも、町内の対象案件の現状とその対応について伺いたい。

答 (藤掛建設課長) 正式には「道路新設及び道路拡幅工事の採択基準」であり、平成18年に定めています。自治会からの要望は、町道の種類、用地買収の有無、沿線の住宅数や公共施設の有無、交通量、接続道路の種類などにより点数を算定します。点数は100点満点で、算定点数により事業を行うかどうか判断するとともに、優先順位をつけます。また、事業にかかる金額が事業採択の判断材料になります。

道路改良の要望は、過去5年間で30件ほど出ています。毎年10路線ほどの道路改良工事を行っています。1路線の改良工事が完了するのに、4年から5年ほどかかります。財政厳しい折、新規路線の事業になかなか取り掛かれないのが実情です。なお、事業の採択が困難な路線や、優先順位が下位の路線においては、全線の改良工事は無理でも、カーブ部分のみの拡幅工事や待避所の設置工事などは

可能です。この方が事業費も安く済みますし、結果的に早く工事ができる可能性があります。もし、要望を変更するということがあれば、自治会の皆様と相談の上、検討させていただきます。

問 中学校のあり方について

Q1 人口減少が進む中、当町は顕著である。特に東部中学校の全校生徒は、平成31年度は31名で、次年度以降も減少していく。こうした現状の中で、今後の中学校のあり方について考えを伺う。

答 (堀部教育長) 子どもたちは、どの地域に生まれようとも、どの子にも高い水準の教育が保障されなければならぬと考えています。現在、東部地区の小中学校では、地域の特性を生かした教育を進め、子どもたちは着実に成長しつつあります。

今年度、東部中学校は、県から「岐阜県優秀校」を受賞しました。人道教育に取り組んでいること、地域との関係を密にしていることなどが評価されました。子どもたちは、豊かな心の面でも大きく育っています。学力面でも力をつけています。また、質の高い教育が得られるように、

へき地小規模校を指導する主幹教諭を配置しています。現段階で、中学校の統合は考えておりません。しかし、今後の八百津町を見据え、教育を考えることは大切であります。

答 (堀部教育長)

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令で、適正な学校規模の条件は、
・学級数がおおむね12学級から18学級までであること。
・通学距離が、中学校にあつては、おおむね6km以内であること。

が定められています。しかし、特別の事情があるときは、それぞれの地域の様々な事情を考慮し決めることができるようになっていきます。また、次のような通達も出ております。
・学校規模を重視するあまり、無理な学校統合を行い、地域住民等の間に紛争が生じたり、通学上著しい困難を招いたりすることは避けなければなりません。
・小規模学校には、教職員と児童・生徒との人間的ふれあいや個別指導の面で、小規模校としての教育上の利点も考えられるので、総合的に判断した場合、なお小規模学校として、存置し